

中種子町の中種子中学校で8日、同校1年生約70人と中種子養護学校中等部10人の交流学习会があった。ゲーム形式の自己紹介で互いの人柄を知り、パラリンピックの正式種目「ボッチャ」を楽しみながら助け合いの心を学んだ。

多様性や障害への理解を深めようと、中種子中が毎年企画する。ボッチャは初めての取り組み。養護学校生は授業などで慣れ親しんでおり、絶妙なシヨットを披露すると中種子中生から拍手と歓声が沸いた。中等部3年の松山亜衣さんは「うまくできてよかった。また一緒に遊ぶことができれば」と笑顔を見せた。

ほかに、養護学校生が動画を交え、学校生活を紹介。開会、

中種子中

ボッチャで仲良く交流

中種子養護

閉会の進行は両校が交代で務め、会を盛り上げた。中種子中の里園謙吾さんは「障害というより苦手なことがあるだけ。困っていたら声をかけるし、関わりを増やしていければ」と話した。

(緒方隆)



ボッチャを楽しむ生徒たち

|| 中種子中学校